

## オーディオ実験室収載

### アナログアキュライザーの導入(16)

#### －適用箇所の検討(12)－

##### 1. 始めに

前報(15)に引き続き、デジタル再生に戻って適用箇所の検討を行います。

##### 2. アナログアキュライザーの試聴方法

アナログアキュライザーAACU-1000をSA11-S2におけるSACD再生に適用します。

再生経路は、前報(15)に倣って以下のとおりとします。

AACU-1000は、SA11-S2のアナログ出力端子に装着します。SA11-S2の出力が大きいので、前報(15)と同様、Ex-ProのSV-1を介在させます。SA11-S2には、GPS-777から176.4KHzのクロックを入力します。

SA11-S2のアナログ出力端子に装着

SA11-S2→AACU-1000→【RCA】→SV1→【RCA】→DA-3000→【SDIF】→

Brooklyn DAC+→【RCA】→P&G フェーダー→【RCA】→

しなの音蔵 300B シングル



音源は、ディスコグラフィーなどで報告してきたSACDです。

### 3. アナログアキュライザーの試聴結果

上記再生経路において、AACU-1000 有無での音質を確認します。  
SA11-S2 のアナログ出力端子に装着しますと、SACD らしい細やかな音に加えて、何となく躍動感が不足していたのが、イザイのヴァイオリンソナタのような厳しい音のするものからマーラーの 1 番まで、俄然生き生きと鳴り出しました。AACU-1000 無に戻すと、肌理が粗くなり、平面的になります。

### 4. まとめ

SA11-S2 のアナログ出力端子にアナログアキュライザーを装着する効果を認めました。

以上